

「研修会等名称」

平成 22 年度 F D 推進会議（新任専任教員向け）

場所：グランドホテル浜松（静岡県）

期間：2010 年 8 月 9 日（月）～10 日（火）

1. 研修の内容

1 日目

[全体会] プログラムの企画意図及びプログラムの流れ

① 「FDとは何か」ということの説明

従来の日本の大学教員は「スペシャリスト型」つまり、優秀な研究を行い、最先端の知識を学生に教授することを第一の目的としていたが、全入時代を迎え、今後は、「プロフェSSIONAL型」という、研究、教育、社会貢献、管理運営を行える教員になることが理想として掲げられている。そのために、大学教員は研究だけでなく、教育についての能力も、FDなどで研鑽していかなければならないということが説明された。

② 昨年の参加者による報告

昨年の研修会に参加された3名の先生が、研修を受けて、その結果講義への取り組みがどのように変化したのか、という点について報告された。

[グループワーク]

研修の参加者8名と1名のコーディネーターで1つのグループとなり、グループワークを行った。各自の専門分野、教育上解決したい悩みにつき紹介していき、共通の課題を抽出し、各先生方の体験談をもとに検討した。

大きく2つの共通した問題点が抽出された。

① パワーポイントの有効な使用方法について

（パワーポイントは、図や表などを見せるうえでは有効であるが、逆にパワーポイントを使うことによって授業が早すぎるなどのクレームがつくこともある など）

② 学生間で学力格差があることについての対応

（どこに標準を合わせて授業を行うか、90分授業につき、学生を飽きさせないための工夫 など）

2 日目

[グループワーク]

各自 15 分の持ち時間で、模擬講義を行った。講義の終了後、グループ内で各講義について批評をしていった。

全員の模擬講義終了後、改めて、昨日抽出された2つの問題点とそれに関連する自己の教育上の課題を提起し、先生方と意見交換を行い、今後教育現場で自分は何ができるかということの筋道などを模索した。

[全体会]

各グループワークでの成果を、グループの代表が報告した。

2. 研修の成果

[授業とシラバスについて]

昨年参加された先生の、シラバスについてのご自身の体験の報告を興味深く聞いていた。シラバスは、達成目標を示したものであって、授業評価は、その到達目標に対してどこまで実現できたかを図ることのできるもの、というように理解するという事、そして、過去は取り返しできないものであるから、この評価をもとに、今後自分はどうすべきかを考えることが重要であるとのことであった。

前期の授業運営がうまくいかず、来期の方向性を決めかねていたので、報告者の先生の話がうかがい、まず、来期は、シラバス作りを入念に行い、そして、どのような授業評価であっても自分の達成度をはかるものとして利用しようと思った。

[模擬講義]

模擬講義では、

- ・話が早すぎる。
- ・話が堅すぎる。
- ・具体例をもっと身近なものにする。
- ・学生の反応を見ながら講義を進める必要がある。

ということを知っていた先生方から指摘されたので、後期は、学生の心を掴む話題を導入部分で話してから、講義に移り、また学生の反応を見ながら話すスピードに気をつけて講義を進めようと思った。

[パワーポイントの利用の仕方]

2日目の全体会で、パワーポイントの有効な利用方法について議論された。いくつか意見が出たが、パワーポイントはたくさんの量を詰め込むことが可能なので、自分が板書で書く量を超える分量をパワーポイントに載せてしまわないことが言われた。早速後期の講義に活かそうと思った。

3. 授業等への研修成果の反映状況

授業のはじめに、講義の達成目標、講義の進め方などを詳細に記したシラバスを配布した。

そして、受講生に対して、毎回任意で講義についてのアンケートを取るようにした。講義中よかったと評価された点は継続して行い、改善点があげられた場合には、それをどのように改善するか対策を練り、次回の講義に反映することとした。学生は率直に意見を書いてくれるので、自分では気がつかない点について把握できるので、どこを注意して講義を展開すべきかの意識が高くなった。

また、一方的な講義にならないように学生に問いかけを行い、授業中にも理解できているかどうかを見ながら授業をするようになった。これにより、学生の授業に参加しているという気を起こし、各学生の勉強する意欲を促す結果につながっているように思われる。

以上

| 学部長 | FD委員長 | FD委員会 | 企画・広報課長 | 係 |
|-----|-------|-------|---------|---|
| | | | | |